

STAGE+を楽しむ(140)(HP 収載)
— トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団 —

1. 始めに

前報(139)に引き続き、STAGE+のトゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、の演奏を選びました。

トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団と若き次期音楽監督が紡ぎ出す多彩な音色
ルノー・カプソンを迎えて

収録日: 2023年12月2日

シンフォニーもオペラも得意とするトゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団。本映像でこのオーケストラを牽引するのは2024年9月から同管弦楽団の音楽監督を務めるタルモ・ペルトコスキです。フィンランドの指揮者であり、まだ22歳という若さながらラトビア国立交響楽団の音楽監督兼芸術監督やドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者を務めるなど注目を集める指揮者です。若き才能あふれる指揮者が紡ぎ出す音色の世界をシェーンベルクにワーグナー、リヒャルト・シュトラウスの濃密な作品でお楽しみください。

演奏:

トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団

指揮:

タルモ・ペルトコスキ

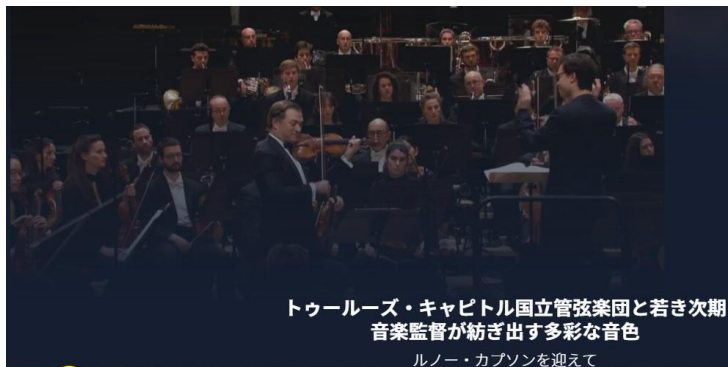
曲目:

アルノルト・シェーンベルク ヴァイオリン協奏曲 op. 36

ルノー・カプソン(ヴァイオリン)

リヒャルト・シュトラウス 《ツァラトゥストラはかく語りき》Op. 30

リヒャルト・ワーグナー 《ニュルンベルクのマイスタージンガー》より
第1幕への前奏曲



3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

また、CDクリーナーの効果(9)で報告しましたようにPCのストリーミング再生において、PCの液晶画面とLAN iSilencer とルーター に対するCDクリーナーの処理を行っています。

シェーンベルクのヴァイオリン協奏曲は、刺激的でスリリングな演奏が続きます。リヒャルト・シュトラウスの《ツァラトストラはかく語りき》は、お馴染みの曲ですが、冒頭のオルガンの持続音は、FALのスピーカーのfoが27Hzなので、さすがに苦しいところですが、低音楽器の分離とか、煌びやかな金管など、色彩感あふれる表情が再現されています。

ワーグナーの《ニュルンベルクのマイスタージンガー》前奏曲は、これもお馴染みの曲でワーグナーらしい威風堂々という表現です。

トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団はソビエフが率いて来日してときに聴いており、若い指揮者のペルトコスキのきびきびした指揮の下にシェーンベルク、リヒャルト・シュトラウス、ワーグナーの壮大な曲を色濃く迫力満点に描き分けています。



4. まとめ

LAN アクキュライザーと Crstal EpL や CD クリーナーの処理効果により、シェーンベルク、リヒャルト・シュトラウス、ワーグナーの壮大な曲を色濃く表現できています。

以上